

令和4年6月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 鈴木 亮平

書記 亀山 侑可

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 令和4年6月22日(水) 午後2時34分～午後3時19分

◆場 所 塩竈市民交流センター 第2・3会議室

◆出席委員

教 育 長	吉 木	修 委	員	松 田	攝 子
委 員	佐 藤	香 委	員	菅 井	信 吉

◆欠席委員

教育長職務代理者 高橋 輝兆

◆事務局

教 育 部 長	鈴 木	康 則	教育部理事兼 市民交流センター館長	佐 藤	達 也
次長兼教育総務課長	小 倉	知 美	参事兼学校教育課長	松 崎	和 佳 子
生涯学習課長兼 文化スポーツ課長	武 田	光 由	生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	阿 部	繭 子
教育総務課 課長補佐兼教育総務係長	鈴 木	亮 平	教育総務課主査	蜂 谷	愛
教育総務課主事	亀 山	侑 可			

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
 - ① 本市の教育活動の状況
 - ② その他
- 5 専決処分報告
 - ① 令和4年度塩竈市一般会計補正予算のうち教育に関する事務にかかる部分について
 - ② 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について
- 6 その他報告
 - ① 塩竈市立浦戸小中学校の児童・生徒の募集について (案)
- 7 閉会

1 開会 午後2時34分

2 前回会議録の承認

佐藤委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

松田委員と佐藤委員を指名

4 教育長報告

吉木教育長から、以下のことについて報告

- ① 本市の教育活動の状況
- ② その他

〔主な質疑〕

松田委員 プールに関して2点お聞きしたい。夏休み中のプール開放がないとのことだが、開放がないときの学校での水質検査等の管理体制はどうなっているのか。また、体育の授業を行う際、水の事故が非常に多いということもあり、各小中学校で、着衣水泳をどの程度でどのような形で行っているのか教えていただきたい。

学校教育課長 子供たちがプールに入らなくても毎日機械は動かしている。着衣水泳は、予定に入れ全校で必ず行っている。浦戸小中学校では、以前、海上保安庁の方々に来ていただき専門的なことを教えていただいた。学校により様々だが、着衣水泳が出来ない場合は他の方法で学習している。

松田委員 低学年だと着衣水泳は難しいが、高学年だとしっかり教えながら実践ができると思う。ただ低学年でもいろいろな学習で防災教育と関連させながら行うことは可能だと思うので、命を守るという意味で水の事故に対する対応をお願いしたい。

教育長 先日の13市町村の教育長会の情報交換の中では、夏休みにプール開放をしないから機械を止めるという市町村もあった。

松田委員 1か月空いて学校で泳がないと、夏休み明けに評価するにも難しいのではないだろうか。

教育長 夏休み中のプール開放は中止にしているが、学校長判断で、体育の授業の延長で学校が責任をもち補習活動をするのは可としている。

佐藤委員 11ページ(3)家庭教育支援活動に記載されている親の学び支援のところ、一小で2月に実施する「親のみちしるべ」はワークショップのようなプログラムがあり良い試みだと思った。一小で行った後は、今後各小学校で取り組んでいくのかどうかを教えていただきたい。

生涯学習課長 「親のみちしるべ」は県の教育庁生涯学習課の事業であり、一小が選ばれた。それが広がっていくかは塩竈市では決められない。

学校教育課長 親のみちしるべは、平成24、25、30年度で作成した。第1段は、親のための10のプログラム、第2段は、小・中・高校生が親になるためのプログラムや子供の反抗期・思春期で悩む親のための5つのプログラムになっている。講義型ではなく、保護者同士がグループワークで学ぶスタイルである。一つのテーマをもとに共感する場や自分の気持ちを吐き出す場など、このワークを通して関係をつくるのが目的である。普段挨拶しかしない間柄がぐっと近くなる。また、開催する際は地元の保健福祉部の方に来ていただいており、困りごとを相談したいという方を繋ぐ場にもなっている。小学校入学の段階で、入学に対して不安を持つ保護者が安心できるよう、講義型ではないスタイルを大切にしている。子育てサポーターという研修を積んだ方々で構成された宮城県家庭教育支援チームが、保護者に寄り添うことにより、みんなで気づきあえるグループワークができる。こうした取り組みが広がるといいと思う。

佐藤委員 県内いくつかの地域、学校で実施ということか。

学校教育課長 県で費用をもち、手を挙げたところに県が派遣している。

菅井委員 防災訓練が無事行われたということだが、停電になった際や通信手段がない際に、自動で保護者に迎えに来てもらうものなのか、今一度、各学校と学校、地区と地区で改めて保護者向けに発信していただくことが大事だと思った。明確に文書化したものを各家庭に配布し、有事の際にこれをみて行動に移すことできるといった体制が整っているとよい。また、引き渡し訓練とのお迎えに行くのが当然のことで行われているが、自分

の家が倒壊、道路が寸断といった場合でも行かなければならないのか。その時は学校側で子供たちをみているというような安心感を与える文面を一言添えていただければ保護者の方も安心すると思う。今は自分の安全を確保し、落ち着いたら子供を迎えに行くといった体制を作るとよいと思う。

教育長 危機管理マニュアルや防災マニュアルは作成しており、その中には文書化されたマニュアルは含まれている。ただ菅井委員がおっしゃったように、6月12日の総合防災訓練にあわせて毎年保護者にパターンを周知しておくことが大切だと思うので、校長会等を通して、再度有事の際の行動例について検討したい。また、基本は各学校で引き渡し訓練を行うが、津波警報・注意報が発令している最中は、引き渡しは行わず、学校の中で子供をきちんと預かっておくという3.11の教訓がある。保護者から要求があっても津波警報等が発令中は、学校が安全な場合は学校の中で子供を預かり一切引き渡しは行わないといったところは徹底している。保護者が仕事で夜しか来られない場合も、保護者が来るまで学校で子供を預かるのは徹底している。ただやはり毎年新しい保護者が入ってくるので、毎年しっかり周知していく作業は必要だと思う。

5 専決処分報告

小倉教育総務課長から、以下のことについて報告

- ① 令和4年度塩竈市一般会計補正予算のうち教育に関する事務にかかわる部分について

武田生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ② 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について

[主な質疑]

特になし。

6 その他報告

松崎学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市立浦戸小中学校の児童・生徒の募集について（案）

[主な質疑]

菅井委員 2ページ8番の入学の可否判断について、兄弟のいる新入生の場合も同じく抽選になるのか。

学校教育課長 悩ましいところだが、教室が足りない現状を考えると、場合によっては兄弟で別の学校になる可能性も有り得る。

菅井委員 募集の段階で丁寧な説明をして、承知の上で応募いただく必要がある。別件で、塩竈市の各学校のホームページに関して、浦戸小中学校のホームページが更新されてないように思えたが、そこに関してお聞きしたい。

学校教育課長 以前は各学校でホームページを作成していたが、要望があり、教育委員会で統一し作成するようになった。しかし、ホームページが古く更新をしても反映されないため、先日の教頭会で、各学校の特色を生かしたホームページを作成するようお願いした。

松田委員 1 ページ 3 番入学資格（2）について、県外在住の場合は入学までに塩竈市内に居住とあるが、塩竈市内と限定しているのはなぜかお聞きしたい。

学校教育課長 塩竈市の人口を増やしたいという思いがあり、入学資格に塩竈市内に居住の見込みであることを記載した。実際に県外から親戚の家に移住し、通っている児童生徒もいる。

松田委員 利府町や仙台市などともと宮城県内に居住しており、学校へ通っている児童生徒もいるのか。

学校教育課長 そのような児童生徒もおり、7時15分の船に間に合うことを条件としている。

教育長 小学校在学時は、朝の船の時間に間に合うよう保護者に送迎をお願いしている。また、宮城県内に既に居住している場合は、小規模特認校制度として塩竈市への引っ越しは強制していない。他県から移住してくる場合は、塩竈市に住んでもらいたいという思いから、塩竈市内に居住の見込みであることを入学資格に記載した。これまでの制度と大きく変化はないが、今後募集人数が増えたときのことを考え、保護者に丁寧な説明ができるよう募集要項を整理した。

7 閉会 午後 3 時 19 分

《会議録署名委員》

1 番委員

(松田委員)

3 番委員

(佐藤委員)